

市政に 対する 一般質問

〽〽10名の議員が質問〽〽

9月定例会の一般質問は、9月15日及び16日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

- 山田 裕一 図書館機能の充実について
- 保科 惣一郎 地区公民館のあり方について
- 吉田 貞子 持続可能な行財政方針について
- 水落 孝子 家庭ごみの有料化について
- 沼倉 啓介 負担金及び交付金・出資金の対応のあり方について
- 四竈 英夫 農作物への鳥獣被害対策について
- 大野 栄光 川原子ダムの自然環境を守る
- 管野 恭子 育児の孤立化・児童虐待を防ぐ子育て支援について
- 沼倉 昭仁 「実効性のある改善計画」の議会への説明について
- 佐久間 儀郎 「ふるさと納税」制度について

図書館機能の充実について

山田 裕一

【質問】①子どもたちの読書を進めるには、

家族で読書を楽しむ雰囲気づくりが欠かせないと考える。そこで「幼児・児童・一般」それぞれのジャンル向けで20〜30冊程度の推薦ブックリストを作成し、家族で本を読み語り合う「家読」を推進してはどうか。

②有効求人倍率が低迷している昨今、就職活動を支援する観点から「就職活動に役立つ書籍を集めた就職活動特設コーナー」を設置してはどうか。行政としてできる最大限の努力と創意工夫が必要と考えるが所見を伺う。

【答弁】【教育長】

①子どもにも本の大切さを教えたり、読書習慣を身に付けさせるには、保護者が果たす役割が非常に重要であると同時に子ども読書推進には、保護者へ啓発していくことが大切であると思っている。推薦ブックリストについては、現在、検討しているところであり、今後、ブックリスト等を作成し、子どもの成長、あるいはその季節や年中行事等を踏まえ、内容提供に努めてまいりたいと思っている。ただ、図書館として、子どもについての推薦はできるが大人については、自分の趣味に合うかどうか非常に難しいので推薦ではなく、紹介にとどめたいと思っている。

②就職活動を支援する観点で図書館も重要であると認識している。そこで、ビジネス支援に關しての図書を集積を積極的に行っているところである。現在、就職支援関係の本は272冊。これらを1か所に見やすい形で、利用しやすくすることが大切であると思っている。その観点と就職活動を支援することもあわせて積極的にコーナーの設置を考えていきたい。なお、コーナーの設置場所と時期については、これから検討していきたい。